

●環境実績（2021～2022年）

阪神高速では、省エネルギー施策の積極的な実施による脱炭素化に取り組んでいます。
2022年度の実績及び2021年度との比較は次のとおりです。

環境実績及び取り組みとその評価

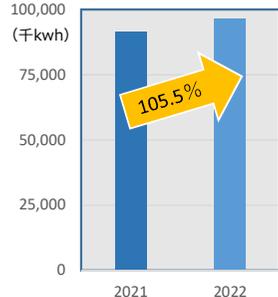
項目	単位	2022年度	2021年度	前年度比		主な取り組み	主な増減理由
				増減率	増減		
①電力使用量（オフィス）	千kwh	8,968	8,343	7.5%増	↑	・不要照明の消灯 ・エレベーター部分停止	前年度比増となった主な要因 ・朝潮橋受電所の新設に伴うオフィス面積の増加
②電力使用量（道路事業）	千kwh	96,605	91,607	5.5%増	↑	・道路照明のLED化 ・設備更新時の節電型機器採用	前年度比増となった主な要因 ・交通量増に伴う電力使用量の増
③ガソリン使用量	ℓ	39,156	32,309	21.2%増	↑	・エコドライブの実践 ・環境配慮型車両導入	前年度比増となった主な要因 ・リニューアル工事による車両可動実績の増加 ・新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和に伴う車両による移動の増
④軽油使用量	ℓ	1,039	1,088	4.5%減	↓		
⑤都市ガス使用量	m ³	55,131	58,288	5.4%減	↓	・ガス使用の節減	前年度比減となった主な要因 ・社員食堂、PAレストラン休業による減
⑥液化石油ガス使用量	m ³	2,634	3,119	15.5%減	↓		
①～⑥のCO ₂ 排出量	t-CO ₂	33,073	35,532	6.9%減	↓	・道路照明のLED化 ・設備更新時の節電型機器採用 ・不要照明の消灯 ・エコドライブの実践	前年度比減となった主な要因 ・電力CO ₂ 排出係数の減少
印刷機による紙使用枚数	枚	4,531	4,588	1.2%減	↓	・ペーパーレスの推進	前年度比減となった主な要因 ・デジタル化、脱ハンコの推進 ・ノーペーパー会議の標準化

実績グラフ

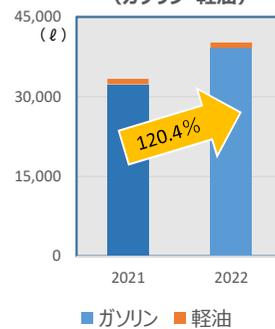
電気使用量（オフィス）



電気使用量（道路事業）



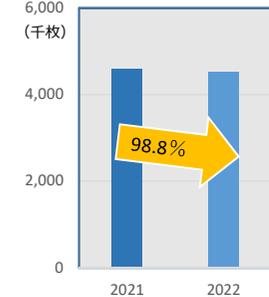
自動車による燃料使用量
（ガソリン・軽油）



ガス使用量
（都市ガス・液化石油ガス）



印刷機による紙使用枚数



今後も継続して省エネルギー施策の積極的な実施により、環境負荷低減による脱炭素化に取り組んでいきます。